

# 吉備中学校文化祭で 手話コーラスを披露

「手話」とは、主にろう者がコミュニケーション方法として用いる言語で、その手話を使いメロディーに合わせて歌詞を手話で表現するのが手話コーラスです。令和3年(2021年)12月に有田川町で手話言語条例が制定されたことをきっかけに、昨年度に引き続き、11月23日(木・祝)、吉備中学校文化祭において3年生が手話コーラスを披露しました。

吉備中学校では、普段から総合的な学習の授業で福祉を学び、手話や聴覚障害に関する理解を深めており、手話コーラスについては、あらかじめ録画しておいたお手本の動画を何度も見て、指や手の動きを覚えて練習に励みました。

挑戦した生徒は「去年の3年生の手話コーラスが素晴らしかったので自分たちも取り組めてよかった」「普通の合唱とは違い、声だけでなく、手でも表現することができ、より多くの人に自分たちの歌が伝わっていると思うと嬉しい」「手話コーラスだけでなく、普段の学習で障害の大変さを感じて生活している人がたくさんいることも知れたので良い経験になった」と話してくれました。



続けてみよう!

## 手話でしりとり! 「そ〇〇」

手話で「しりとり」していきましょう。  
皆さんはどんな言葉をつなげていきますか?



両手を握り、左手の甲に右手を乗せて、  
右手を上下させる。

先月号の答えは「基礎」でした!

今月の答えは次号で発表!

ヒント…コットン、シルク、ウール  
フリーそ〇〇  
料理はそ〇〇が大切

※手話は、使う人やコミュニケーションをとる相手などによって異なるため、  
ここで紹介している手話と違う表現を使うことがあります。

## 有田川町職員向け手話教室

有田川町役場職員向けの手話教室を  
毎年2回実施しています。

手話や聴覚障害に  
関する理解を深め、  
手話ができる職員を  
増やしています。

